

平成30年12月4日

### 政務活動費使用計画届出書

届出者 中川健一（代表者） / 竹内功治 / 加藤美幸

○使途項目（○をつける） 調査研究・研 修・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

平和学習のあり方を多面的に行う取り組みなどについて

○目 的

（半田市にどのように活用できるか、半田市の可能性をどのように切り拓けるか）

半田市役所が取り組む平和事業は、中学生8名を広島へ派遣する平和研修、戦争の体験談を聴く平和懇談会（平成30年度は6小学校で実施）、半田空襲の日に市内の戦争遺跡を巡る戦争遺跡見学会（平成30年度バス1台）が主なものです。アメリカ軍による原爆投下や無差別空襲（半田空襲）のことなど国際法違反による戦争被害に関する分野がほとんどです。

しかし日本は中国や東南アジア諸国、アメリカ、ロシアなどに対しては戦争の当事者で加害者の立場もあります。またソ連（現ロシア）によって戦後にソ連へ抑留された日本軍人・軍属は約57万5千人に上り、苛烈な労働を強要させられたことにより、約5万5千人が死亡しました。沖縄県では凄惨な地上戦も行われ、日本側の死者・行方不明者は188,136人に上り、その中には約94,000人も民間人が含まれています。

このように一口に「平和」を考えるとと言っても軍人（戦闘員）、一般市民（非戦闘員）、加害者、被害者など立場によって視点も受け止め方も異なり、平和についての様々な見方があります。また戦争反対と唱えているだけでは平和が実現できる訳もありません。戦争を防止し、平和存続への処方箋を見出すには、戦争のメカニズムと戦争が無い状態である平和のメカニズム解明に取り組む必要があります。

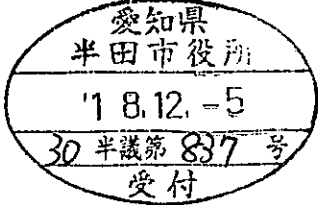
原爆被災都市広島を訪れている中学生平和事業はとても重要な事業です。しかし戦争と平和の全体像から見ると、一般市民（非戦闘員）の戦争被害と言うあまりにも一面的な取り組みではないでしょうか。

そこで、子どもたちは平和についてもっと多様な見方を学ぶ必要があると考え、本視察を計画します。

具体的には原爆被災都市広島に加え、軍人の視点に立って平和学習を行っている鹿児島県南九州市の知覧特攻平和会館と、軍人と被害者の双方の視点で平和事業を行う京都府舞鶴市の舞鶴引揚記念館へも中学生平和事業として半田の子どもたちを派遣することができないか、可能性を探ります。

○概 要

確認欄	議長	管理委員長



(どこに何を調査しに行くのか。視察の場合は特にその特徴は何か、事前調査すること)

1月16日、17日、18日

行先・内容

1月16日 鹿児島県南九州市 知覧特攻平和会館 平和学習について

当施設は多くの修学旅行や地域の児童生徒を受け入れ、特攻隊員の遺書など所蔵する多くの一次資料をもとに平和について学習する組みをしています。軍人の視点でどう平和学習をするのか、平和の存続にどう役に立つのかについて調査研究をします。また原爆被災地広島以外の平和学習の場として半田の子どもたちに学ぶ価値があるかについても調査をします。

1月17日 鹿児島県鹿児島市 鹿児島市役所 平和学習などについて

鹿児島市のある中学校は一年生全員が総合学習の一環で知覧特攻平和会館を訪れています。他市より知覧特攻平和会館を訪れる目的や成果、子どもたちの受け止め方はどうであるかなど調査研究をします。

また二年生になると長崎平和公園へ修学旅行に行くそうですが、知覧と長崎の違いを子どもたちがどう学習しているかについても調査します。

その他、鹿児島市では「みんなの町内会応援事業」として、町内会活動のさらなる活性化と地域の連帯強化を促進するための事業も市役所が推進しています。行政としてどう自治組織の活動を支援できるかについても調査研究をします。

1月18日 京都府舞鶴市 舞鶴引揚記念館 平和学習について

ソ連によって戦後にハバリアへ抑留された日本軍人・軍属約57万5千人は戦争被害者ですが、終戦前は戦争の当事者でもありました。当施設では軍人であり、かつ被害者である状況をどのように学習するのか、またそれが平和の存続にどう役立つのか、調査研究をします。原爆被災地の広島以外の平和学習の場として半田の子どもたちに学ぶ価値があるかについても調査をします。

京都府舞鶴市 舞鶴市役所 教育旅行について

舞鶴市が進める教育旅行誘致の第1号として神奈川県横須賀市の緑ヶ丘女子中学校・高校の生徒18人が学習旅行で舞鶴引揚記念館(舞鶴市平)を訪れ、ハバリア抑留と引き揚げの歴史を学びました。生徒らは同世代の「中学生語り部」との交流や、抑留体験者の話を通して、平和の尊さを実感していたとのことです。緑ヶ丘女子中学校高校など教育旅行を行った学校の事例、旅行日程や学習プログラム、教育成果などを調査研究し、半田の子どもたちを派遣する場合の参考にします。

○行程・予算(資料購入の場合は、内容欄に書名と出版社を記入)

日にち	時間(概略可)	内容		金額(円)
1月16日	0529~0619	知多半田⇒中部国際空港 (名鉄河和線・空港線)	運賃	810
	0730~0905	セントレア⇒鹿児島空港 (NH 3719 便)	運賃	32,010 (ハリー1 料金)
	0940~1036	鹿児島空港⇒平川 (鹿児島交通バス)	運賃	1,500
	1104~1136	平川⇒特攻観音入口 (鹿児島交通バス)	運賃	560
		昼食		
	1315~1515	視察 鹿児島県南九州市 知覧特攻平和会館	手土産	540 (1,620÷3 人)
	1556~1721	特攻観音入口⇒金生町 (鹿児島交通バス)	運賃	950
	鹿児島市内宿泊	吹上荘	宿泊費	7,000
1月17日	0915~1045	視察 鹿児島県鹿児島市役所	手土産	540
	1105~1120	市役所前⇒鹿児島中央駅 (鹿児島市電)	運賃	170
	1130~1210	鹿児島中央駅⇒鹿児島空 港 (鹿児島交通バス)	運賃	1,250
		昼食		
	1335~1440	鹿児島空港⇒大阪空港 (JAL 2410 便)	運賃	30,260 (正規料金)
	1552~1747	大阪空港発⇒東舞鶴駅前 (高速バス)	運賃	2,400
	舞鶴市内宿泊	ホテルマービレ舞鶴	宿泊費	6,200
1月18日	0930~0945	ホテル⇒引揚記念館 (タクシー 約 5.3 km)	運賃	概算 670 (2,000÷3 人)
	1000~1145	視察 京都府舞鶴市 舞鶴引揚記念館	手土産	540
	1201~1218	引揚記念館⇒東舞鶴 (京都交通バス)	運賃	400
		昼食		

	1310～1314	東舞鶴⇒市役所前 (京都交通バス)	運賃	150
	1330～1500	視察 京都府舞鶴市役所	手土産	540
	1537～1543	市役所前⇒東鶴舞 (京都交通バス)	運賃	150
	1625～1808	J R 東舞鶴⇒ J R 京都 (特急まいづる 12 号)	運賃 指定席	5,080 (乗車券) 960 (特急券)
	1826～1900	J R 京都⇒ J R 名古屋 (新幹線のぞみ 250 号)	指定席	3,210 (特急券)
	1913～2005	JR 名古屋⇒JR 半田 (JR 東海道線・武豊線)	運賃	
			合 計	95,890

別記様式第1号 (第2条関係)  
政務活動費使用計画書

平成30年12月4日

半田市議会議長  
嶋崎 昌弘 殿

議員名 中川 健一



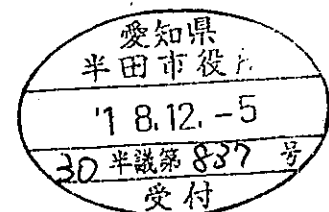
政務活動費使用計画書

1 計画の内容 (単位 円)

使途項目	予算額	左のうち政務活動費充当額	事業計画
調査研究	95,890	95,890	<p>【1】 平和学習のあり方を多面的に行う取り組みなどについて</p> <p>半田市への導入に関する有効性を調査研究すべく、先進地視察（南九州市、鹿児島市、舞鶴市）を行う。</p>
支出合計	95,890	① 95,890	

2 上記計画前までに請求した政務活動費の合計金額 (②) 51,075円

3 ①+② 146,965円



別記様式第1号（第2条関係）  
政務活動費使用計画書

平成30年12月4日

半田市議会議長  
嶋崎 昌弘 殿

議員名 竹内 功治



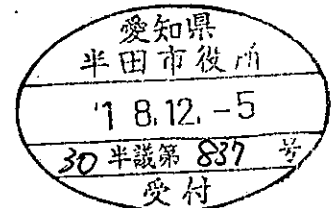
政務活動費使用計画書

1 計画の内容（単位 円）

使途項目	予算額	左のうち政務活動費充当額	事業計画
調査研究	95,890	95,890	【1】 平和学習のあり方を多面的に行う取り組みなどについて 半田市への導入に関する有効性を調査研究すべく、先進地視察（南九州市、鹿児島市、舞鶴市）を行う。
支出合計	95,890	① 95,890	

2 上記計画前までに請求した政務活動費の合計金額（②） 49,601円

3 ①+② 145,491円



別記様式第1号（第2条関係）  
政務活動費使用計画書

平成30年12月4日

半田市議会議長  
嶋崎 昌弘 殿

議員名 加藤 美幸



政務活動費使用計画書

1 計画の内容（単位 円）

使途項目	予算額	左のうち政務活動費充当額	事業計画
調査研究	95,890	95,890	<p>【1】平和学習のあり方を多面的に行う取り組みなどについて</p> <p>半田市への導入に関する有効性を調査研究すべく、先進地視察（南九州市、鹿児島市、舞鶴市）を行う。</p>
支出合計	95,890	① 95,890	

2 上記計画前までに請求した政務活動費の合計金額 (②) 28,977円

3 ①+② 124,867円

